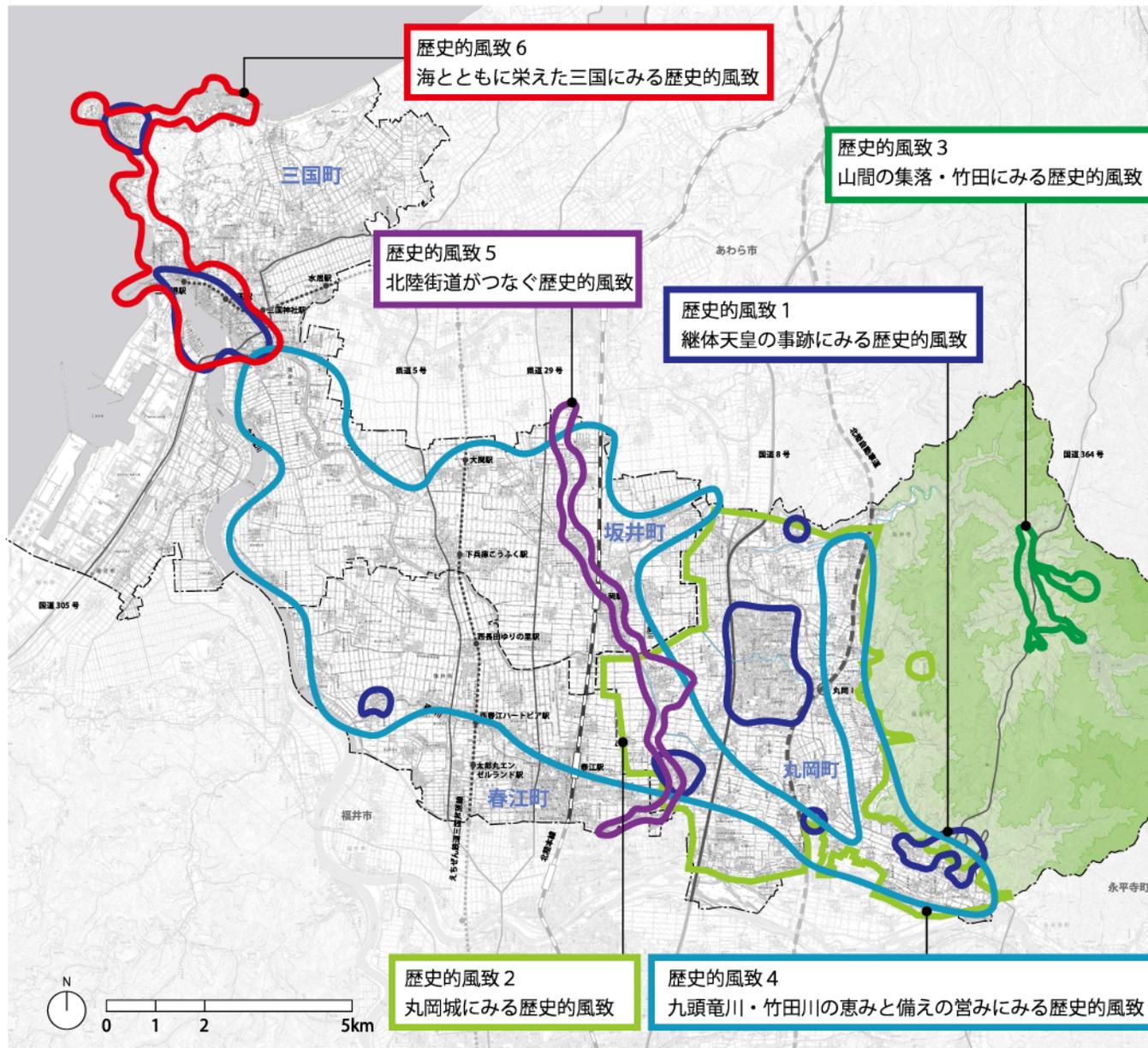


# 坂井市の維持向上すべき歴史的風致（案）

計画期間 令和6年度（2024）～令和15年度（2033）

坂井市は平成18年（2006）に旧坂井郡の三国町、丸岡町、春江町、坂井町が合併して誕生し、豊かな自然環境、歴史、伝統文化など、地域の個性や宝となる資源が豊富に存在する。それらが織りなす歴史的風致を維持・向上させ、後世に継承することを目的に、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）」に基づく「坂井市歴史的風致維持向上計画」を策定し、歴史文化を生かしたまちづくりをより強く推し進めていく。



## 1. 継体天皇の事跡にみる歴史的風致

坂井平野を一望する丸岡町東部山麓には、日本海側最大級の六呂瀬山古墳群など大規模古墳が集積している。継体天皇はこの地に登場した。市内に点在する継体天皇ゆかりの神社や伝承・事跡が、地域の人々の心のよりどころとなり、現在まで継承されている。



## 2. 丸岡城にみる歴史的風致

北陸唯一の現存天守である丸岡城天守を中心に、堀跡の水路、地割、寺院群などが城下町の歴史を伝える。藩主ゆかりの地は城下町周辺にも広がり、丸岡城を地区で継承する古城祭りは旧丸岡町全域で行われている。



## 3. 山間の集落・竹田にみる歴史的風致

盆地状に開けた山間地域である竹田地区は、竹田川と里山、加賀文化の影響を受けた民家群が固有の集落景観を作り出し、深い信仰とともに人々の暮らしが営まれている。



## 4. 九頭竜川・竹田川の恵みと備えの営みにみる歴史的風致

坂井平野は、九頭竜川などの河川が貫き、治水を行うことで、豊かな水の恵みとして稲作文化が育まれてきた。十郷用水などの大規模な用水が整備され、穀倉地帯が形成された。



## 5. 北陸街道がつなぐ歴史的風致

都から、越前、加賀へとつながる北陸街道は、室町時代に蓮如が北陸道を通って吉崎へむかったと伝えられる。舟寄は越前と加賀を結ぶ要衝として、中世には城館が構えられ、近世には宿場として栄えた。



## 6. 海とともに栄えた三国にみる歴史的風致

古代から川湊として発展した三国湊は、江戸時代末から明治時代初期に全盛期を迎えた北前船交易により繁栄した。寺社や中心部の歴史的町並み、漁業や祭礼などの民俗文化が、三国の歴史文化を現在に伝える。



